

# 子どもの医療費 小学6年まで無料に

小矢部市は今年10月から子の医療費を、小学6年生まで入院、通院とも無料にします。県内では既に朝日町が実施していましたが、それに次ぐものです。

桜井市長は、12月議会で砂田市議の質問に「子育て支援に有効」「市としての適切な対応が可能か、平成20年度の予算編成のなかで検討したい」と答えていました。

## 住民運動と日本共産党が拡充に協力

乳幼児医療費無料制度の拡充を求めて、新日本婦人の会を中心に長年住民運動が取り組まれてきました。日本共産党は2006年11月の市議補欠選挙で石山忠義氏を立てて、「小学校6年生まで医療費を無料に」を公約の一つに掲げてたたかいた。砂田喜昭市議は昨年6月議会、12月議会で実現を迫りました。これが実現したものです。

## 窓口無料に

無料化の方法では、ひきつづき病院窓口で無料です。一部所得制限が導入されます。(二面参照)

## 医療費の窓口無料拡大を

砂田市議 「高岡市の医療機関も対象に」

市当局 「拡大するよう努力したい」

窓口無料となるのは小



No.160 2008年4・5月号

発行  
日本共産党  
小矢部市委員会

小矢部市七社 245  
砂田喜昭  
TEL 67-4322  
FAX 67-4842

## 3月定例市議会報告

できるだけよいにしてみたい」と質問しました。市当局は「拡大するよう努力していきたい」と答えました。

## 市営バス

### 循環コース、乗り合いタクシー実現

昨年9月議会で砂田市議が取り上げた市営バスの改善が6月から実施されます。



循環コースなど新路線での運行は6月からです。キーバスのデザインを変え、リフレッシュします。

デマンド式乗り合いタクシー(事前予約制、バス停までのコース制)も運行します。料金はこれまで通り、一日200円乗り放題です。

高齢者で運転免許自主返納者に1年分の市営バスの定期券を出します。

## メドースイミングプール 4月以降も営業中

存続が危ぶまれていたメドースイミングプールが、スポーツアカデミー(本社・東京)が経営を引き継ぐことで、4月1日以後も営業しており、関係者に喜ばれています。

今後市としては、賃貸料としての助成を見合わせ、その代わりに、市民が広く利用できる方策について支援します。

これについて桜井市長は議員懇談会で「スポーツアカデミーの企画のうち公益性の高いものを支援する。今後の協議によるが、年何回かの無料開放、小中学生の水泳教室なども考えられる。」と述べました。

## 水道料金

### 今度も値下げ

4月使用分より  
1m<sup>3</sup> 5円値下げ

小矢部市は水道料金を1立方メートルあたり今年4月使用分(5月請求分)より5円値下げします。一昨年の10円値下げに続いてのことです。

2回の値下げで  
月3000円安く  
県西部で最大の下げ幅

## 署名運動が値下げの力に

「水道料金の値下げを求める会」(代表 八尾三紀夫氏)では、2003年、05年、07年の3回にわたって、水道料値下げの署名運動に取り組む、高岡市、氷見市などの市民団体とも協力し、県企業局や小矢部市に繰り返して要請してきました。

日本共産党の砂田議員は昨年12月議会で道理を尽くして水道料金の値下げを迫りました。

市当局も高岡市、氷見市など受水団体と共同して、県企業局と粘り強く値下げ交渉を繰り返しました。企業努力としては今後3年間で、5%以上の高利の企業債4億5千万円を低利に借り換え、利息の負担を軽減します。これらの努力が値下げに実ったものです。



子撫川ダム  
(小矢部商工会 HP から)

県は子撫川ダムの上水道用水を2004年度からこの5年間で3回値下げし、合計で1立方メートルあたり20円安くしました。そのうち、小矢部市は2回の家庭用料金値下げで15円を市民に返すことになりました。月20立方メートル使う平均的な家庭で3000円安

## 年寄りいじめの後期高齢者医療制度は中止・廃止しかない

さあ！ 署名だ

4月からスタートした後期高齢者医療制度。75歳以上のお年寄りを年齢だけで別枠の医療制度に困いこみ、年金から保険料を強制的に徴収します。

「昔のうば捨て山もひどかったが、今度はお金を取って早く死ぬ」と迫るのだから、これほどひどい制度はない。日本共産党の市田書記局長は4月14日、東京の4野党共同演説会で訴えました。共産党、民主党、社民党、国民新党は今国会にこの制度の廃止法案を共同で提出しています。

日本共産党は市内で、中止・廃止署名に取り組んでいます。対話の中から、市民の率直な声を紹介します。

Y こんな年寄りいじめの政策は困ると思ってるが、どうも言いようがない。署名に回ってほしいよかったです。

M あんたらうち、遅くてあかんないか。今から変えられるもんか。

F 唯一さえ、少ない年金なのに、天引きするや、なんの事や。

S どんな世の中になるのやとっね早く死ねてしまえや。

K 外国では例がないけど、日本には日本の事情があるのよ。う。それでも、病気で付き合いが増える年寄りを大事にしてほしい。

U 若い人の世話になっているので、老人も少し負担させても結構だよが気楽だ。

ぜび、署名にご協力下さい。

# 大きな無駄づかい

## 石動駅南土地区画整理事業

### 40億円は聖域扱い

市民には負担を強いる一方、石動駅南土地区画整理事業に40億円つぎ込む計画は聖域扱いです。国、県からの補助金が来るとしても、もとは私たちが納めた所得税、住民税、消費税などです。

市はこの事業が市の活性化、人口増対策、公共交通の利便性の向上に役立つと言っていますが、新幹線が高架で通過するだけの地域に人が寄ってくるでしょうか。このような無駄づかいを正せば、もっと暮らしやすい小矢部市にできます。地権者にとっても、地価が1.5倍に値上がりしなければ、追加の賦課金を課せられるおそれもあります。

【詳細は砂田喜昭のホームページ ビラ・チラシの保管庫 2008年4月号外】



# 市民負担増

市は財政が苦しいからと、新年度予算で住民への負担を次々とかぶせてきました。

- 燃えるごみ専用袋(手数料) 大20円 30円に、中15円 20円に。
- 金婚式会費 1000円 2000円に
- 寿永荘サービスデーの利用料負担 100円 200円に。
- インフルエンザ予防接種自己負担 1000円 1200円に。
- すこやか健診自己負担 無料 500円に
- 歯周病健診自己負担 無料 1000円に。
- ガン検診自己負担 一般400~2200円 500~2500円に。
- 節目健診 100円ないし200円の値下げ。
- 延長保育の利用料 1日100円 200円に。

(10日以上は月額2000円に変更なし。)

これで節約するのが約900万円です。

## やめて!

### 医療費助成制度の所得制限強化

ひとり親家庭には特に厳しい

2割も対象外に

市は医療費助成制度に所得制限を持ち込み、これまで受けていた助成対象から外される人が増えます。富山県が導入したことに追随したものです。

ひとり親家庭の医療費助成制度では、母(または父)一人、子一人の家庭では年収がおおむね360万円を超えると対象から外され、現在の対象者の2割

前後にのぼります。

これで削減される市の負担は150万円です。砂田市議は3月議会で、「議員の海外視察や特別委員会の行政視察を中止すれば、これくらいは手当てできる。せめて子ども医療費並みに所得制限を緩和すべきではないかと迫りました。

子どもと妊産婦医療費 年収約800万円以上が対象外

子どもと妊産婦の医療費にも

## ガソリン値下げに

4月1日からガソリンなどの暫定税率が期限切れとなり、ガソリン代が下がり、喜ばれています。参議院で自民党・公明党が過半数を割り込んだ結果、自民党の勝手が通用しなくなったことを象徴する出来事です。

「二つの高規格道路に市道路予算の160年分も」

砂田市議 道路特定財源維持の意見書に 反対

3月議会最終日24日に道路特定財源について、砂田市議は存続を求める意見書に次の反対討論をしました。

自民党が新聞折込した道路特定財源のチラシに対して、「歩道がなくなる」「除雪ができなくなる」と脅しているが、暫定税率ができて何十年もたっているのに、今まで何をやってきたのか」と怒りの声が寄せられた。生活関連道路が遅れているのは、道路特定財源が高規格幹線道路中心だからだ。県内でも国は道路特定財源を、富山市豊田の8号線高架化に230億円、伏木富山港と小杉インターを5分間短縮するのに640億円もつぎ込もうとしているが、この二つだけで小矢部市の道路橋梁予算5億3千万円の160年分にもなる。

### 農民の願い

## 政府備蓄米を主食用に売るな



### 米価安定の請願に 自民党所属市議ら反対

農民運動富山県連合会および代表 辻慶輝氏が出した「米価の安定と生産調整についての請願」は3月議会最終日、自民党所属市議が「生産調整はペナルティをかけて強制すべき」「飼料用にまわして欲しいから政府備蓄米の棚上げ措置の継続に反対」などと発言し、他の自民党所属議員らも「反対」してこの請願を不採択にしました。

砂田市議 賛成討論 農業の再生と食の安全確保を

日本共産党の砂田市議は次の賛成討論をしました。

昨年産米の米価が1万3千円と、生産費1万7千円を四干円も割り込み、規模拡大に協力してきた担い手農家、集落営農組織、そして個人農家に深刻な打撃を与えている。農業従事者の45%が70歳以上という高齢化が進行。農家の時間給が256円で、どうして農業後継者をつくることができるか。日本の食糧と農業は、新たな深刻な危機に直面している。このままでは食料自給率39%に落ち込んだ日本農業を再生できない。日本では米の期末在庫が24万トンも不足している。米が余っているというのは、ミミムアセスの輸入残高が189万トンもあるからだ。世界では深刻な米不足であり、日本が輸入を中止すれば、世界の食糧危機解決に貢献となる。昨年、米価が下落した原因は、政府が米価安定の責任を放棄し、市場任せにしたばかりか、政府の備蓄米を安値で放出し、米価下落の引き金を引いたからだ。米価の安定のためには、政府備蓄米の放出を許さないことが最低限の条件だ。

10月から所得制限が導入されます。助成対象から外されるのは、養育者父または母のどちら

かがサラリーマンの場合におおむね年収850万円以上上の家庭で約9%が対象外となります。これによる市財政削減は450万円です。

